

「土砂災害から身を守る」

宇多津町立宇多津北小学校 6年 三好 結愛さん

私は、夏休みに土砂災害から身を守るために自分たちにできることを考えました。

この作文を書こうと思った理由は、最近台風がたくさん来て土砂災害や川の氾濫などの災害が多いからです。去年の今ごろにも広島県で大きな土砂災害、川の氾濫などが起きて死者もたくさんいて、私が住んでいる宇多津町でもこれからこんなことがないようにしたいからです。なので、私はこの作文を書こうと思いました。

土砂災害が起こると、家が流されたり、家の中に土が入ってきたりします。なので、避難所での生活になります。もし、避難所に寄付がなくて食べ物や飲み物がなかったら、死んでしまいます。なので自分たちで身を守るためには食べ物や飲み物、毛布などを準備しておくことが大切だと思います。日本は、台風や大雨、地震等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害が発生しやすい国土環境にあります。土砂災害は一瞬にして、とうとい生命や家屋などの貴重な財産をうばうなど、とても大きな被害をもたらします。土砂災害の被害を防ぐためには、一人ひとりが土砂災害から身を守れるように備えておくことが重要です。また、土砂災害の前兆現象にも注意することが大切です。がけにヒビ割れができたり、小石がパラパラと落ちてきたり、地鳴りがなったりします。

日本全国で発生している土砂災害はおどろくほどたくさんあってビックリしました。土砂災害が発生するおそれのある危険箇所は、日本全国で約五十三万箇所もあります。私たちも将来、土砂災害の被害にあうかもしれません。私たちの住んでいる宇多津町は、あまり災害の被害がなく、地震もあまりこない町だけど、いつどんなことが起こるか分からないので私も災害の時に備えて、リュックなどに必要な物を準備しておいて、そうなった場合にすぐ対応できるようにしておきたいです。

あらかじめ、避難場所を家族と考えておくのも大切だと思います。家族と合流できなかつたら、私はとても不安になります。電波が悪い場合は、電話が繋がらない時もあります。しかも、他にも家族と合流できなかつた人などが電話をかけるのでとてもつながりにくくなっています。身を守るためにも避難場所を家族と考えるのも大切だと思います。

また、危険な場所を調べておくのも身を守るためには大切だと思います。氾濫しやすい川や土砂災害が起こりやすい所を調べてみるのもいいと思います。地図は役場などに置いているのを見たことがあります。地図を見ながら、自分の家のまわりに危険な場所がないか調べておくのも大切だと思います。

香川県でも土砂災害が起きています。土砂災害は、どこの県でも起きます。なので、ふだんから身を守るためにできることを考えておきたいです。私は、以前まであまり災害や、土砂災害などに、全く興味がありませんでした。だけど、去年広島県で起きた土砂災害をニュースで見て、死者もすごく多くてビックリしました。だから、土砂災害が起きて、広島県で起きた土砂災害の時よりも死者が少しでも減るように自分たちでできることを考えました。災害は前兆などが無いと想定できないのでふだんから準備をするなどのことをこころがけたいです。また、家族と避難場所の確認をしたいです。私も家族とはなればなれで避難生活をするのはいやです。それに、はなればなれだと、とても心配になります。もしかしたら、ケータイ電話も公衆電話もつながりにくい状態になっているかもしれません。なのでやっぱり避難場所を家族と考えておくのは大切だと思います。

土砂災害や、地震等は、とても大きな被害をもたらすおそろしい災害です。いつ起こるか分からないし、大切な物、とうとい命などがうばわれます。もっと考えていきたいです。